

戦略重点科学技術(8)

人の能力を補い 生活を支援する ユビキタスネットワーク利用技術

戦略重点科学技術(8) 人の能力を補い生活を支援するユビキタスネットワーク利用技術

施策名: ユビキタスセンサーネットワーク技術に関する研究開発【総務省】

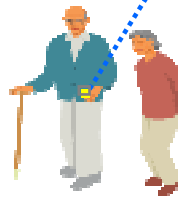
連携施策群(ユビキタスネットワーク)施策

平成19年度概算要求額: 400百万円
(平成18年度予算額: 302百万円)
実施期間: 平成17~19年度
(予算総額: 1,102百万円)

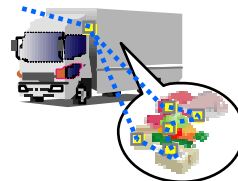
< 施策の概要 >

人・モノの状況やそれらの周辺環境等をセンサーが認識し、センサー同士の自律的な情報の流通を実現し、状況へのリアルタイムな対応を可能とするユビキタスセンサーネットワーク技術に関する研究開発を行い、多様なアプリケーションや新たなサービスの創出に資する。

健康管理
(体調, 動作)



流通状態の記録
品質管理
(温度, 湿度, 振動)



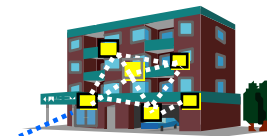
火災, 土砂崩落, 液状化
等の自然界の観測
(温度, 煙, 地盤変位)



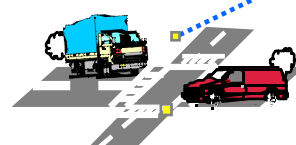
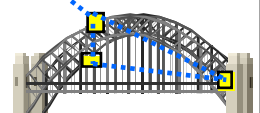
安否確認
(体調, 位置)



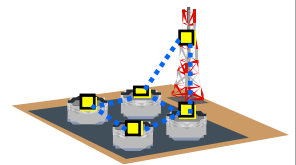
侵入者監視や自動照明等
(侵入, 温度, 明度)



構造物劣化検査
(歪, 振動, 弾性波を用いた劣化検査)



大気汚染や振動などの
環境観測
(大気汚染物質, 振動)



火災, 有毒ガス, 設備劣化等
のプラント管理
(煙, ガス, 歪)

施策名: 電子タグの高度利活用技術に関する研究開発【総務省】

連携施策群(ユビキタスネットワーク)施策

平成19年度概算要求額: 700百万円
(平成18年度予算額: 598百万円)
実施期間: 平成16~19年度
(予算総額: 2,626百万円)

< 施策の概要 >

電子タグの高度利活用に必要な以下の技術の研究開発を行う。

(1) シームレス・タグ情報管理技術

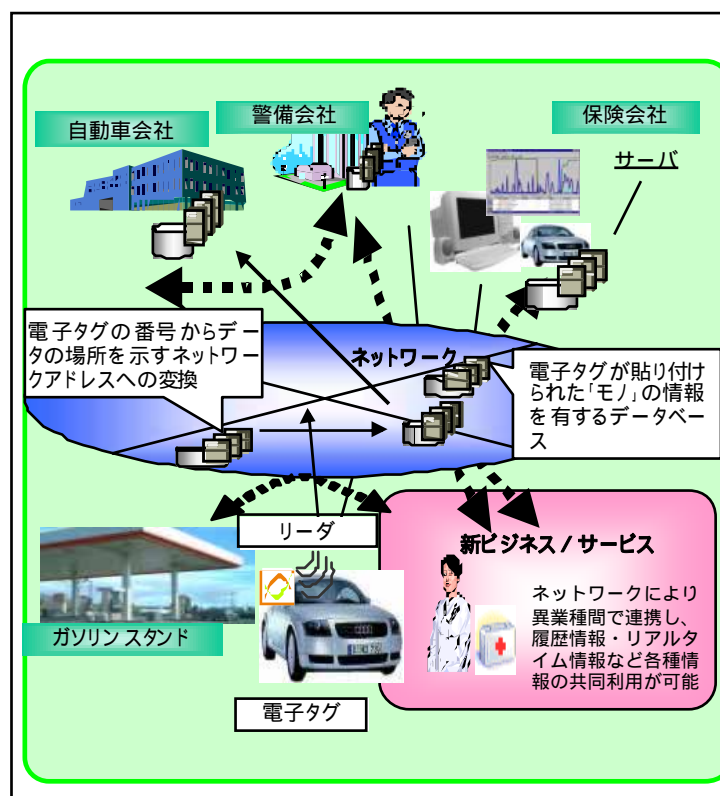
属性情報を、動的な環境変化に応じて、異なるプラットフォーム間で交換する技術

(2) セキュリティ適応制御技術

電子タグ情報へのアクセス制限を適切に実現する技術

(3) 相互変換ゲートウェイ技術

電子タグのIDと、ネットワークアドレス及びモノの属性情報をネットワーク上で関連づけ、情報の検索・逆検索を効率的に行う技術



施策名: アジア・ユビキタスプラットフォーム技術に関する研究開発【総務省】

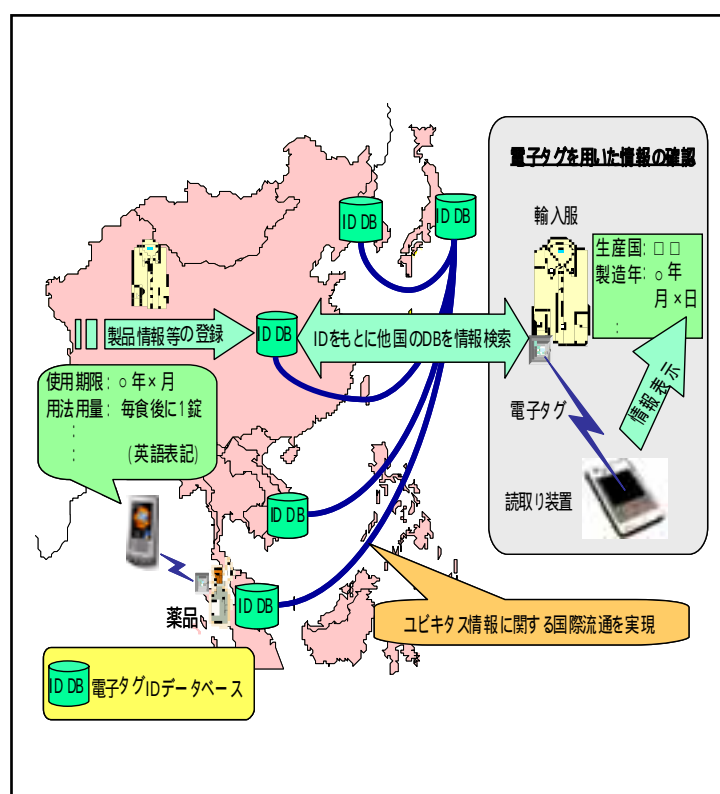
連携施策群(ユビキタスネットワーク)施策

平成19年度概算要求額: 350百万円
(平成18年度予算額: 315百万円)
実施期間: 平成17~19年度
(予算総額: 995百万円)

電子タグを含めた様々な端末等が多様なネットワークを介して接続された環境において、情報配信を国際的に高速かつ安全に実現するためのユビキタスプラットフォーム技術を確立するため、以下の研究開発・実証実験を実施。

(1) データベースが国際的に広域に分散した環境においても、瞬時の応答を得るための情報配信高速化技術

(2) どここの国の人でも、どここの国に移動してもアクセスを可能とするための多国間認証技術



施策名: ユビキタスネットワーク(何でもどこでもネットワーク)技術の研究開発

【総務省】

連携施策群(ユビキタスネットワーク)施策

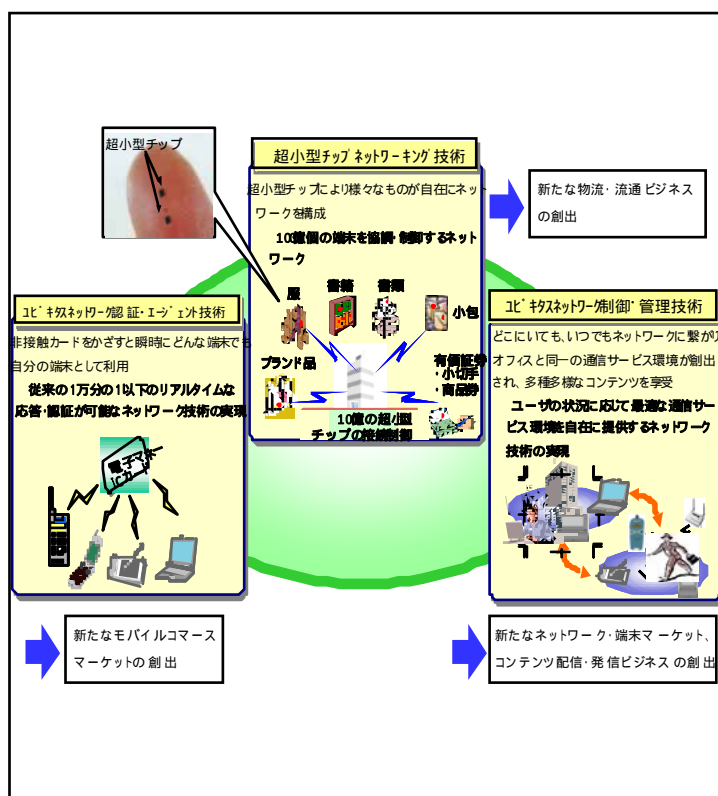
平成19年度概算要求額: 2,400百万円
(平成18年度予算額: 2,098百万円)
実施期間: 平成15~19年度
(予算総額: 12,711百万円)

< 施策の概要 >

ネットワークがすみずみまで行き渡った社会(ユビキタスネットワーク社会)を実現するため、ユビキタスネットワークの実現に必要な

- (1) 超小型チップネットワーキング技術
- (2) ユビキタスネットワーク認証・エージェント技術
- (3) ユビキタスネットワーク制御・管理技術

の研究開発を行う。



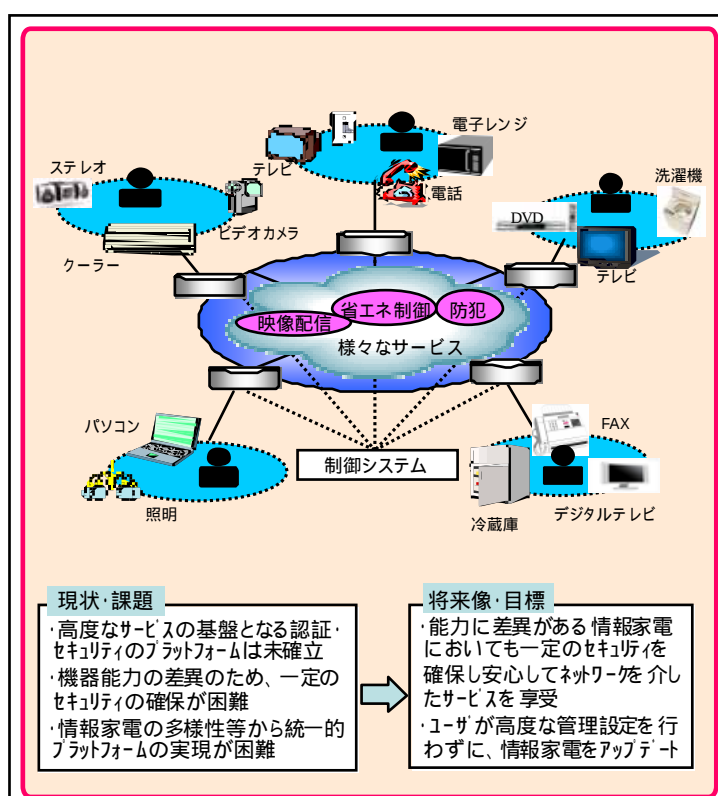
施策名: 情報家電の高度利活用技術の研究開発 【総務省】

連携施策群(ユビキタスネットワーク)施策

平成19年度概算要求額: 750百万円
(平成18年度予算額: 125百万円)
実施期間: 平成18~20年度
(予算総額: 1,375百万円)

家電のデジタル化やネットワークのブロードバンド化の進展により、今後多様な利用が期待される情報家電について、安心安全に高度なサービスが利用できるよう必要な研究開発を実施し、新たなサービスの創出やユビキタスネット社会の実現に資するため、以下の利活用基盤技術の研究開発を行う。

自動認証型マルチデバイス管理・
連携・最適化技術
スケーラブル対応型ソフトウェア制御技術



施策名： 自律移動支援プロジェクトの推進 【国土交通省】

連携施策群(ユビキタスネットワーク)施策

平成19年度概算要求額： 729百万円
(平成18年度予算額： 719百万円)
実施期間： 平成16～22年度

< 施策の概要 >

2010年度までにユビキタス技術を活用し、身体的状況、年齢、使用言語等を問わず、いつでも、どこでも、だれでもが移動に必要な情報を入手できる自律移動支援システムを確立する。

早期実用化(平成20年度以降)を目指して
実証を進めていくサービス



急な振り替え輸
送の情報等を振
動や文字で情報
提供



携帯端末を介し
て多言語で情報
を入手



移動経路案内
や施設・観光
情報の取得

平成22年度の実用化に向けて、引き続き試
験的展開で検証を続けるサービス



身体能力に応じた最適
ルートの提示



目的地の正確な場所等
を音声や振動で案内